



国立大学法人
長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology

防災・減災に関する包括連携協定締結と 地域防災実践研究センター構想について

2021年1月21日

国立大学法人長岡技術科学大学



目次

1. 経緯
2. 防災・減災に関する包括連携協定について
3. 地域防災実践研究センター構想について
4. 長岡技術科学大学の構想と新潟県総合計画について

2. 経緯

- 本学は、これまでも防災に関する様々な研究等に取り組んできた
- また、本学は東アジア唯一のSDGsのハブ大学として、持続可能な社会づくりや人材育成を実施している
- 特に、昨年9月に新潟県との共同主催による「新潟防災シリーズフォーラム」においては、最近の防災に係る総合的な研究成果の一つである「防災ワクチン™」という新たなコンセプトの提案と、災害対応力のある地域づくりについて全国の地域代表による議論を行うなど、新たな試みも実施してきた
- これらの取り組みを進める中、本学内では、研究の成果を社会に実装してゆくために、学内に存在する様々な研究シーズを統合し、これらを実践するための研究拠点設置の必要性等について、議論を行ってきた

～次頁に続く

2. 経緯

- これらの議論を経て、本学は、学内設備を有効活用し、防災に係る様々な研究を産学官連携にて実施するとともに、開発された技術の社会実装に関する実データを取得する場所を整備する「地域防災実践研究センター」構想を策定した
- この研究センターは、防災の経験や知識、研究成果を集約・融合し、新潟県における防災の「知の実践拠点」としての基本機能と、水害に強い場所に立地し、通信や先端設備が既に存在する本学の利点を活かし、将来は地域の緊急時対応の「地域連携拠点」としての付帯機能も想定している
- このような取り組みは、「新潟県総合計画」の実現に資するものでもあり、昨年10月末に本構想を新潟県に説明し、協賛を得て、これからの活動を具現化するために、本日の防災・減災に係る包括連携協定の締結に至ったもの

3. 防災・減災に関する包括連携協定について

新潟県と長岡技大が本日締結した包括連携協定は、下記の通り

- 目的: 防災および減災に関して、包括的な連携の下、多様な分野で相互に協力し、安全・安心で持続可能な地域社会の実現と人材育成に寄与すること
- 連携および協力事項
 1. 防災及び減災に関する地域及び企業の課題解決に資すること
 2. 防災及び減災に関する地域産業の振興に資すること
 3. 防災及び減災に関するSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みに資すること
 4. 防災及び減災に関する教育及び人材育成に資すること
 5. その他本協定の目的を達成するため、双方が必要と認める事項

4. 地域防災実践研究センター構想について（その1）

• 地域防災実践研究センターの基本機能

（知の実践拠点）

① 災害対応技術の実践研究機能

② SDGs、防災の人材育成に関する機能



4. 地域防災実践研究センター構想について（その2）

地域防災実践研究センターの基本機能（知の実践拠点詳細）

① 災害対応技術の実践研究機能

- A) 防災に関する研究開発（産学連携・アカデミーの連携）
- B) 研究成果の実装（電源、水、データベース構築、ロジスティックス、等）
- C) 防災産業クラスターへのシーズ提供からハブ化へ（研究成果の製品化）

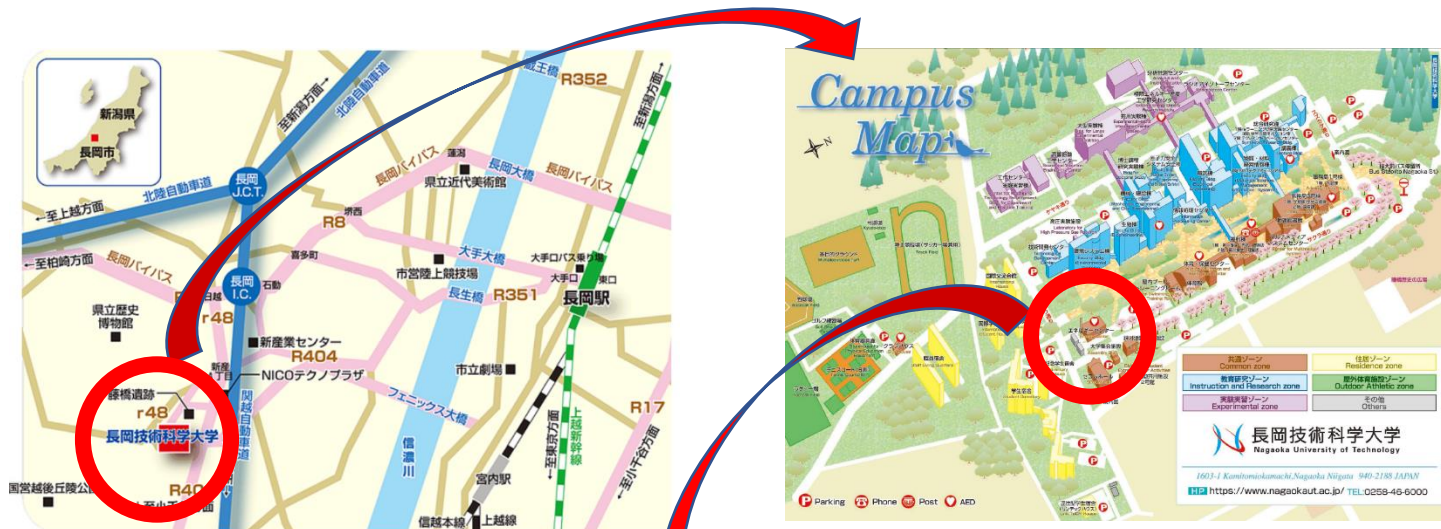
② SDGs、防災の人材育成に関する機能

（防災ワクチン™実装）

- A) 地域の学生・生徒のSDGs・防災教育に関する研究
- B) 地域の学生・生徒への防災教育の実施
- C) 地域社会への防災教育・訓練への協力
- D) 防災シニアリーダー、防災リーダー育成支援

4. 地域防災実践研究センター構想について (その3)

センター候補地
既設の安全科学推進会館を改修
(時間と費用をセーブ)



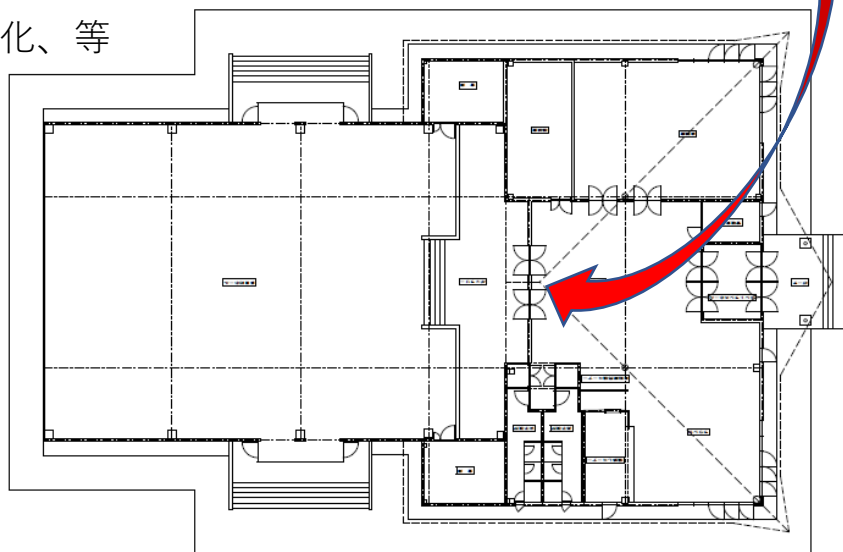
4. 地域防災実践研究センター構想について（その4）

地域防災実践研究センター設立に向けた改修（案）

① 災害対応技術の実践研究機能

② SDGs、防災の人材育成に関する機能

- ・ 研究室設置（間仕切り）
- ・ 実装設備導入
- ・ バリアフリー化、等



- ・ 演習室設置
- ・ 会議室設置

4. 地域防災実践研究センター構想について（その5）

地域防災実践研究センターの機能（付帯機能）

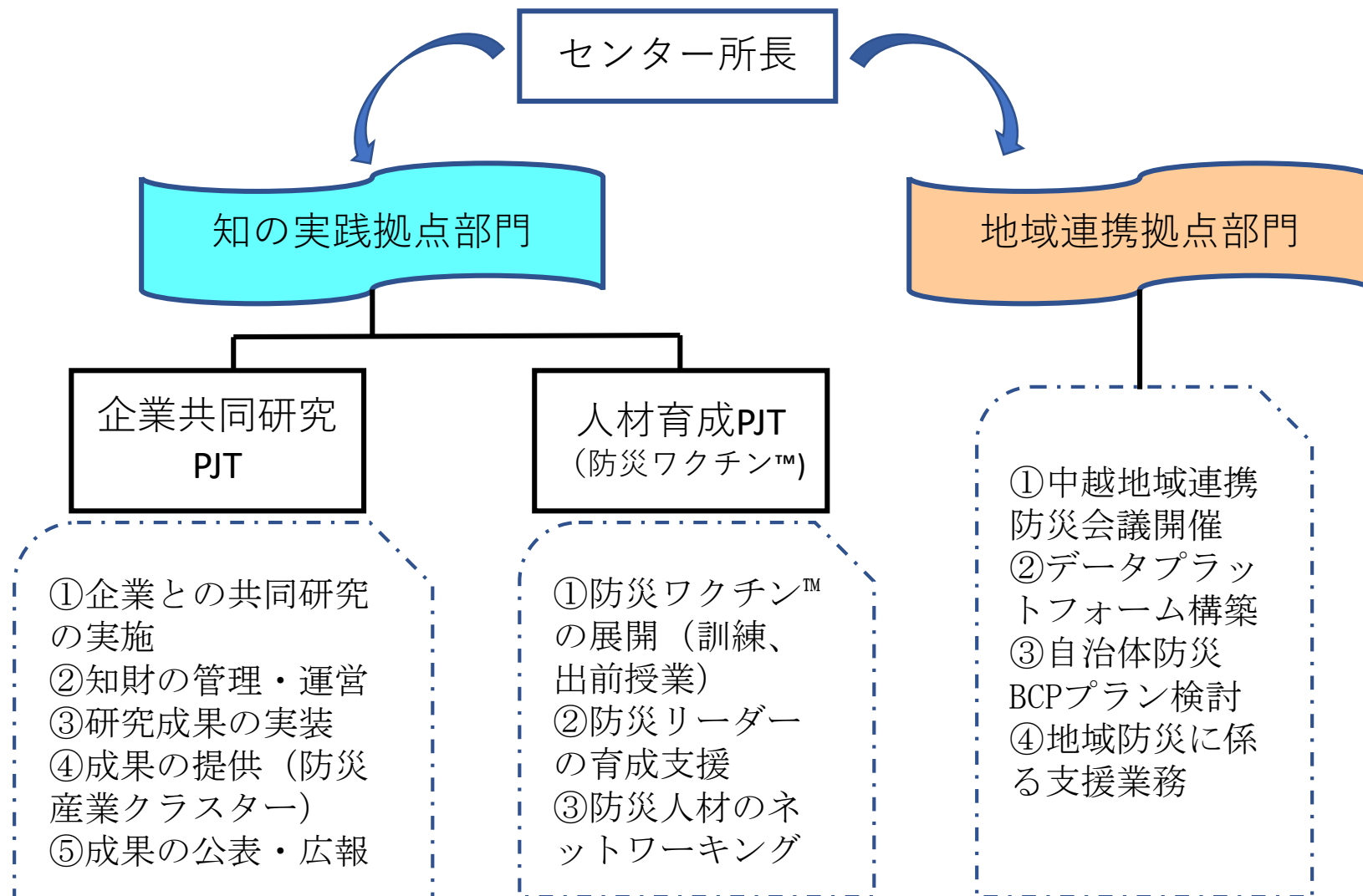
基本機能に加え、以下の機能整備を想定する

③ 実際の災害対応に関する支援機能

- A) 新潟県・長岡市及びその近隣地域の防災対応機能の代替基地
- B) 非常用電力、通信機器等のインフラ整備
- C) 資機材の備蓄センターとその物流確保
- D) 避難者用飲料水、生活水、食料の備蓄

4. 地域防災実践研究センター構想について（その6）

地域防災実践研究センターの当面の組織と機能(案)



5. 長岡技術科学大学の構想と新潟県総合計画について



長岡技術科学大学 「地域防災実践研究センター」

新潟県総合計画～住んでよし、訪れてよしの新潟県～(平成31年3月)関係事項

- ① 安全に安心して暮らせる新潟
 - A) 一段加速した防災・減災対策の推進
 - B) 安全・安心な地域を支える基盤づくり
 - C) 豊かな自然・環境の保全と未来への継承
- ② 活力ある新潟
 - A) 挑戦する人や企業が生まれ、集まる環境の整備
 - B) 多様な雇用の場の確保と働きやすい環境づくり
 - C) 魅力あるまちづくりと定住の促進
- ③ 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟
 - A) 将来の夢や希望を育みかなえる教育の推進
 - B) 地域の産業・社会を支える人づくり

実現支援